

第5回地域デザイン研究会 地域探訪 「クロマツの街いちかわ」のご案内

■テーマ：「文人が多く住んだ街千葉県市川市 生活景としてクロマツが多く残る邸宅街をめぐる」

■主催：日本都市計画家協会 地域デザイン研究会

■日時：令和5年11月25日（土）14：20～19：00

（まち歩きは17：00まで、終了後、懇親会予定）

■講師：地域デザイン研 高山 登（街並景観プランナー）

mail：rsu16094@nifty.com 当日の緊急連絡先 携帯：090-5807-8786

■参加申込方法：下記のフォームよりお申込みください

<https://forms.gle/2WdnepfjM9HBJ28d7>

■定員：12名 定員枠があります。申し込みはお早めをお願いします。

■集合：京成本線 菅野駅 改札出口前 14：20 集合

■参加費：無料（懇親会費別途発生）

■資料：参加者の皆様へは後日、詳細な資料を送付させていただきます。

■内容

今回は江戸川の東、緑の濃い市川市です。千葉県の高級住宅地のイメージは菅野、八幡地域が該当します。この地域は江戸時代から、豪商の別荘地として栄え、お屋敷街を形成する高級住宅街となっております。過去に永井荷風、幸田露伴、北原白秋、東山魁夷など数多くの文化人が好んで住み、作品を作りながら過ごしました。

市川市はクロマツの街としても知られています。クロマツは市川市の市木であり、**クロマツのある街は市川のブランドとして、先代の人達が大事に保全してきました。**今でも路地裏にクロマツのある街並みを多く見ることができます。

案内人は市川市在住の私高山が、仲間たちと3年間調査したデーターにもとづきご案内します。

クロマツがある街並みが多く見られる2地区を探訪します。

1. 菅野地区：京成線「菅野駅」界限

菅野駅をおりてすぐ、建物の新築でセットバックされてもクロマツが残された小路などを探訪。

2. 八幡地区：京成線「京成八幡駅」北東部界限（京成線を菅野駅から一駅乗り、次の京成八幡駅で下車）

“はちまんさま”の愛称で親しまれてきた葛飾八幡宮からスタートし、これより北東部の迷路のような路地を探訪。戦後の著名な脚本家、水木洋子邸や大邸宅のある界限。

ゴールは再び八幡宮にもどり、JR本八幡駅北口で解散。その後、懇親会になります。

市川市は、全国的にも例をみないほどクロマツが生活に溶け込み多く残る街です。長くクロマツが保全されてきた街あるきをご堪能ください。



次ページで、引き継がれ今も生活景として残る「クロマツの街いちかわ」を一部ご紹介します。



クロマツを保全して築かれた大邸宅の築地塀。クロマツは保存樹木として市川市が管理

マンション建設で、セットバックされても道路内に保存されたクロマツ。市川市が管理。
私有地内でも市川市に登録されたクロマツは、消毒や施肥など市の補助がある。



市川市内で最大級の屋敷を構える大邸宅。面積は不詳、500坪位か。宅地内のクロマツの樹高は25m位



玄関前のクロマツ：新築の住宅でも既存のクロマツは上手く設計に取り組み、引き継がれている